

2023—2030

第三次

南会津町

総合振興計画

自然と人が笑顔を育むまち
～ともに生きる みんなのふるさと～

令和5年3月

第三次
南会津町
総合振興計画

夢と希望と活力に満ちた 南会津町の実現に向けて

令和5年 3月

南会津町長 渡部正義

Q どんなまちを
目指していきますか？

A 豊かな自然のなかで、本町にか
かわる人々が幸せに笑顔で過ごす
ことができるまちにしていきたいと思ってい
ます。

そのためには、自らが世代交代の担い手
となり、時代の変化に対応した施策を実行
し、活力ある豊かな暮らしを次世代につな
いでいくことが、私たち世代の責務だと考
えています。

Q 南会津の魅力や
強みは何ですか？

A 本町の魅力は、四季の移り変わりが
はっきりしていて美しい景観があること
です。また、人情に厚い土地柄であり、面倒見
の良い人が多く、日常的に助け合い・支え合い
の精神が根付いていることが強みです。

古くから交通の要衝として栄えてきた歴史や
そこで培われた文化なども大きな魅力です。今
後は会津縦貫南道路、栃木西部・会津南道路、
国道289号八十里越の整備により、地域のさら
なる活性化が期待されます。



Q 特に力を入れて取り組んでいくことは何ですか？

A 想定より早く進んでいる人口減少問題は、地域活力の低下や経済活動への悪影響を及ぼし、さらには、集落における支え合い機能の低下を招いており、早急に対策を講じる必要があります。

特に、定住対策や結婚支援、子育ての負担軽減、関係人口の創出を人口減少対策の柱に据えて力を入れて取り組みます。

また、生活環境や福祉・医療環境の充実により、町民が安心して生活でき、若い世代が南会津町に住み続けられるよう取り組んでいきます。

Q 町民のみなさんへメッセージをお願いします

A 住んでいる町民のみなさんが、南会津町への愛着と誇りを持つことで、よりいっそう“輝く”まちになると考えています。

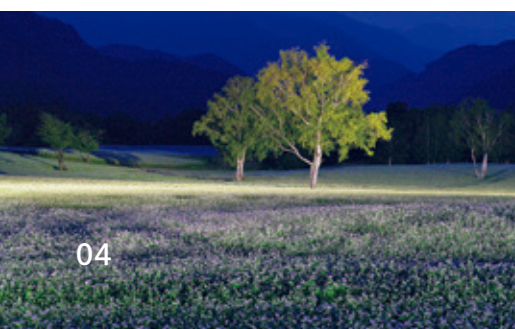
そのためには、みなさん一人ひとりが町の一員としてまちづくりにかかわっていただくことが重要です。町民のみなさんと行政が協働し、町全体が一体となって、「自然と人が笑顔を育むまち」を目指して、魅力あふれるまちづくりを推進していきましょう。



Contents

第1章 基本構想 ▶▶ p06

第1節	計画の策定にあたって	06
	1. 計画策定の目的	06
	2. 計画の位置づけと役割	06
	3. 計画の構成・期間	07
	4. 計画の推進体制	07
第2節	目指す将来の姿	08
	1. まちづくりの基本的な考え方	08
	2. 町民の想い	10
	3. まちの将来像	12
	4. まちづくりの展開	13
第3節	まちづくりの背景	16
	1. 社会潮流	16
	2. 本町の概要	18
	3. 町民の意識（町民アンケートより抜粋）	20
	4. 現状・課題	23
	5. 人口フレームなど	26
第4節	横断的な視点	28
	1. SDGs	28
	2. Society5.0	29
	3. 「スマートシティ」を目指して	30





第2章 基本計画 ▶▶ p32

柱1 豊かな自然ときれいな水が育む元気に安心して過ごせるまちづくり

- ① 豊かな自然と生活環境を守る 34
- ② 健康づくり・医療の充実 36
- ③ 高齢者や障がい者にやさしい福祉 38
- ④ 結婚・子育て支援の充実 40

柱2 魅力を高め活力を生み出すヒト・モノ・カネの好循環化

- ⑤ 地域特性をいかした農林業の推進 42
- ⑥ 商工業の再生 44
- ⑦ 観光・地域間交流のさらなる推進 46
- ⑧ 誰もが輝いて働くことができる就労環境 48

柱3 快適で充実した生活を送れる魅力ある生活基盤づくり

- ⑨ 良好な居住環境の整備 50
- ⑩ 持続可能な上下水道 52
- ⑪ 町民みんなにやさしい交通 54
- ⑫ 災害・犯罪への備え 56

柱4 世代を超えて「南会津愛」を育む“共育”のまちづくり

- ⑬ 学ぶ力を育てる学校教育の推進 58
- ⑭ 生涯を通じた学びの場の提供 60
- ⑮ 南会津の宝をまもり、つなぐ 62

柱5 誰もが主役で誰もがつながる未来を見据えた協働によるまちの運営

- ⑯ デジタル化の推進 64
- ⑰ 地域コミュニティの充実 66
- ⑱ 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり 68
- ⑲ 効率的・効果的な行財政運営 70

資料編 ▶▶ p72

